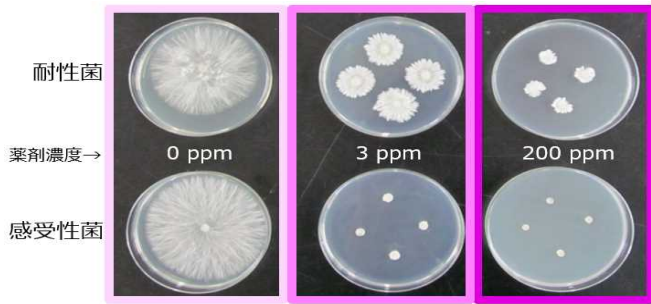


## ネギ白絹病のフルトラニル耐性菌の確認

ネギ白絹病は根深ネギ栽培において重要な病害です。特に夏場の安定生産に大きく関わるため、病害虫対策チームでは萎凋病とともに対策試験を実施し、白絹病に対してのフルトラニル(モンカット)剤の有効性を示したところです。しかしながら、一部の生産現場ではフルトラニル剤の効果が不十分である事例が報告されたため、薬剤感受性検定の実施と、現場で確認できる検定培地の作成を行いました。

### 【研究のポイント】



### 成果のポイント

2013年から2018年に東北地域を主体として採取した31ほ場175菌株について、フルトラニルの常用濃度における検定を実施した結果、9ほ場36菌株で感受性低下を確認しました(表1)。

ポット栽培のネギに白絹病菌を接種し、フルトラニル水和剤の防除価を算出した結果、感受性菌株では85.7であったのに対し感受性低下菌株では50.0となり、防除効果の低下が認められました。このことから感受性低下が見られた菌は耐性菌であると判断されました(表2)。

耐性菌を接種した場内ポット試験において、薬剤の防除効果を調査したところ、リゾレックス水和剤の効果が高いことが確認されました(表2)。

現場でも耐性菌の判定ができるよう、簡易検査キット(写真)を作成し、振興局と連携して耐性菌の発生状況を現在モニタリングしています。

表1 フルトラニル耐性菌の発生状況

写真 白絹病菌簡易検定キット

### 【研究の成果】

採集年度	採集ほ場数	採集菌株数	耐性菌株確認ほ場数	耐性菌株数
2013	6	6	4	4
2015	4	13	0	0
2016	8	76	1	8
2017	8	46	2	12
2018	5	34	2	12
合計	31	175	9	36



表2 フルトラニル耐性菌の発生状況

薬剤	菌株	散布後からの防除価		
		7日後	13日後	21日後
リゾレックス水和剤	感受性	100	100	78.6
	耐性	100	100	83.3
モンカットフロアブル40	感受性	100	100	85.7
	耐性	50.0	22.2	50.0

### 【生産者の声】

白絹病は夏場に問題となる病害で、有効な薬剤であるモンカットに対する耐性菌には大きな関心があります。生産現場としても振興局と協力して動向を把握するとともに、防除体系を検討していく必要があると考えています。

(豊後高田市白葱生産部会部会長 井上 智彦氏)



### 【連絡先】

担当:農林水産研究指導センター 農業研究部 病害虫対策チーム  
TEL :0974-28-2078  
住所:大分県豊後大野市三重町赤嶺2328-8